

山形大学農学部 農学紹介講座

# 農学の夕べ

日時：H26.10.9（木）～12.11（木）

PM6:00～7:30 全6回

場所：山形大学農学部講義室 受講料：無料

※下記参照



現代の農学の対象は食育、有機農業、バイオテクノロジー、環境問題など非常に幅広く  
なっています。そんな農学を広く皆さんに知っていただきたいと考え、企画しました。

事前申し込みは不要です。興味のあるテーマがございましたら、ぜひお気軽にお越しください☆

<第1回>10/9（木） 【会場：302講義室】  
「米副産物の再資源化による地域産業創生の可能性について」 准教授 渡辺 昌規（食品・応用生命科学コース）

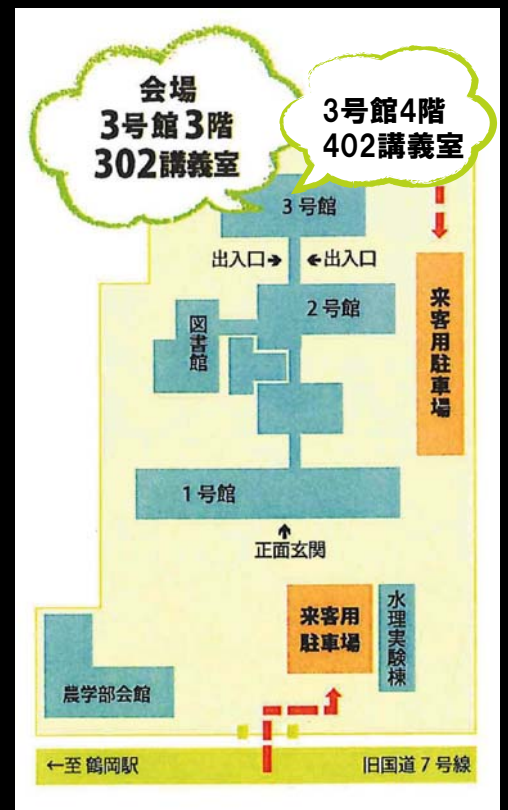
<第2回>10/16（木） 【会場：302講義室】  
「世界のブドウ栽培とワインの話」  
客員教授 元村 佳恵

<第3回>10/30（木） 【会場：302講義室】  
「果物と健康」  
教授 村山 秀樹（植物機能開発学コース）

<第4回>11/13（木） 【会場：402講義室】  
「内陸へつなぐ道 -明治から平成の六十里越街道-」  
教授 奥山 武彦（水土環境科学コース）

<第5回>11/27（木） 【会場：402講義室】  
「使える進化論 -ダーウィンと紫式部はどこで繋がるのか?-」 教授 小山 浩正（森林科学コース）

<第6回>12/11（木） 【会場：302講義室】  
「1兆倍に育つ樹木の呼吸法則 -論争最前線-」  
教授 森 茂太（森林科学コース）



お問い合わせ

山形大学農学部企画広報室  
TEL: 0235(28)2803

開講日	講義テーマと概要	担当教員
<b>第1回</b> <b>10月9日(木)</b> <b>302講義室</b>	<p align="center">「米副産物の再資源化による地域産業創生の可能性について」</p> <p>日本屈指の穀倉地帯である庄内地方は、同時に、米由来バイオマス（米ぬか、もみ殻、洗米排水等）の宝庫でもあり、これらのバイオマスの有効利活用が期待されています。当研究室では肥料やバイオプラスチック、さらには、栄養補助食品等の原料として、米由来バイオマスの利用を可能にする最新利活用技術を紹介します。</p>	<b>渡辺 昌規</b> (食品・応用生命科学コース)
<b>第2回</b> <b>10月16日(木)</b> <b>302講義室</b>	<p align="center">「世界のブドウ栽培とワインの話」</p> <p>日本ではブドウはほとんど全部が生食用として栽培され、山形は日本第3位のブドウ生産県であるが、世界ではワイン用として栽培されているものが生食用よりも圧倒的に多い。ドイツ、フランス、アメリカ、南米チリなどのブドウ栽培とワインなどのブドウを原料とした飲料の抗酸化性について紹介する。</p>	<b>元村 佳恵</b> (客員教授)
<b>第3回</b> <b>10月30日(木)</b> <b>302講義室</b>	<p align="center">「果物と健康」</p> <p>2009年の農学の夕べで「果物摂取と健康の関係」というテーマで話をさせていただきました。それから5年がたち、果物と健康に関する研究も進んでいます。今回は、果物を食べることと私たちの健康にどのような関係があるのか、科学的な最新のデータに基づいて講義します。</p>	<b>村山 秀樹</b> (植物機能開発学コース)
<b>第4回</b> <b>11月13日(木)</b> <b>402講義室</b>	<p align="center">「内陸へつなぐ道」 —明治から平成の六十里越街道—</p> <p>古代からの山岳信仰路として知られる六十里越街道は、内陸と庄内との交流・輸送路としても重要であった。明治時代以降は車道が建設され、月山、梵字川周辺の険しい地形と豪雪に挑む道路改良と数度にわたるルート変更を重ねて庄内の大動脈として交通を支えてきた。その変遷を自然条件と土木技術から辿る。</p>	<b>奥山 武彦</b> (水士環境科学コース)
<b>第5回</b> <b>11月27日(木)</b> <b>402講義室</b>	<p align="center">「使える進化論」 —ダーウィンと紫式部はどこで繋がるのか?—</p> <p>ダーウィンは、過去40億年の間に生物が変化を重ねて来たことを明らかにしましたが、この進化論は単に過去を知る学問ではありません。これからの人々が快適で、安全で、環境に良い生活を送るためにも使えます。ここでは、生物の「デザイン」と「行動」から私たちは何を学ぶべきなのか、いろいろな例を紹介しながら考えて行きます。</p>	<b>小山 浩正</b> (森林科学コース)
<b>第6回</b> <b>12月11日(木)</b> <b>302講義室</b>	<p align="center">「1兆倍に育つ樹木の呼吸法則」 —論争最前線—</p> <p>樹木は1兆倍の重さに成長します。しかも樹木は呼吸で熱帯でもシベリアでも環境にしなやかに適応できます。今、樹木の個体呼吸法則をめぐる世界中で大論争が続いています。素粒子研究者も参入し、まさに大賑わい。この法則から生命の新概念が生まれるのか?自己組織化とは?生物/化学/物理の境界領域、現在進行形のホットな話題を紹介します。</p>	<b>森 茂木</b> (森林科学コース)